

は じ め に

平成12年度は20世紀と21世紀にまたがる、まさに世紀の移行の年度でありました。新世紀に向けて世の中が急速に変化している現在、当研究所も新しい時代に対応できる新体制を構築すべく鋭意努力を続けておりますが、これからもお一層の努力が必要と考えております。

当年度は、平成13年度から発足した「福岡県リサイクル総合研究センター」開設のため、研究職員3名が環境部リサイクル推進室との兼務の発令を受け、開設準備業務に従事しました。同センターは実践的なリサイクル技術の研究を企画調整する機関として活動しておりますが、同時に当研究所の実践的研究面を強化する側面も持っております。

また、平成11年度に認証取得した環境マネジメントシステムに関する国際規格 ISO 14001は、1年目の運用を行い、平成13年2月には第1回目の定期審査を受け、認証継続となりました。このシステムは環境保全・改善について当研究所の実状に即した継続的、段階的な努力を要求しており、そのためにはかなりのエネルギーを必要としますが、反面その成果は数字など具体的な成績となって表れるので、努力の程度とその効果が実感できるという利点もあります。加えて、私どもの環境保全に対する意識をさらに高めるためにも有用であると考えております。さらに私共は、この環境マネジメントシステムを通して、研究面でも環境問題に寄与する成果を少しでも多く挙げたいと努力しております。

さらに、当年度は当研究所の調査研究、試験検査に加えて、もう一つの活動の柱である教育研修・情報発信にも力を注ぎました。社会における環境問題への関心の高まりに伴い、当研究所への見学希望、研修会開催や講演会への講師派遣の要望等が飛躍的に増えており、極力対応するよう努力いたしました。これからは現在の体制では十分な対応ができなくなる可能性もあり、今後は本庁や保健所とも分担協力して、系統的な教育・研修を行う総合的体制作りが必要と考えています。情報発信については、一般向けの分かりやすく興味をそそるような情報の提供が不十分であったと反省しております。

この反省から、改善の第一歩として、まず当研究所の広報誌である「保環研ニュース」をA4版へと大型化して内容も読みやすいものへと工夫し、さらに子供向けに「保健環境研究所こどもガイド」を新しく発行しました。

この年報も読みやすく、分かりやすくするために、編集に工夫を加えました。またインターネットのホームページも、より充実したものへと変身させました。これらの努力はまだ始まったばかりで決して十分なものではありませんが、今後ともさらに努力を重ねて、少しでも分かりやすい情報を発信するようにしたいと考えています。

この新しい時代への移行の時期に当たって、皆様の当研究所への忌憚のない、厳しいご意見をお寄せいただきますようお願いいたしますとともに、これまで同様、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

平成13年12月

福岡県保健環境研究所長 加 藤 元 博

保健環境研究所の沿革

昭和23年	地方衛生研究所設置要綱通達
昭和24年	福岡県衛生研究所設置条例により，福岡県衛生研究所が発足
昭和34年	開所10周年記念式典を開催
昭和44年	公害業務の急増により，公害関係職員を増員
昭和46年	衛生公害センター建設の基本構想を策定
昭和48年 9 月	太宰府市向佐野39に庁舎を新築移転
昭和48年 9 月	衛生公害型研究機関として福岡県衛生公害センターが発足
昭和51年 2 月	第 1 回九州衛生公害技術協議会を本所で開催
昭和62年 1 月	衛生公害センターニュースを発刊
平成 2 年 3 月	高度安全実験施設を設置
平成 2 年 9 月	第42回保健文化賞を受賞
平成 4 年 4 月	保健環境研究所に改称，組織を 3 部12課に改編
平成 4 年 6 月	第19回環境賞（優良賞）を受賞
平成 5 年10月	第44回地方衛生研究所全国協議会総会を開催
平成 6 年 3 月	第 1 回保健環境研究所研究成果発表会を福岡市で開催
平成12年 2 月	開所50周年記念式典を開催
平成13年 4 月	循環型社会実現など新たな問題解決のため，組織を 3 部11課に改編